



ロータリーに活力を—
あなたの活力を
PUT LIFE INTO ROTARY-
YOUR LIFE

1988～89年度 国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ロイス・アビー ● 第256地区ガバナー 榎内悌三郎
- 会長 — 杉野 奎司 ● 副会長 — 小林 英雄 ● 幹事 — 長谷川有美
- SAA — 榎本 勝、近藤 雄介 ● 例会日 — 毎週水曜日 12:30～
- 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34 - 3311
- 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35 - 3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)

- クラブ会報委員 — 伊藤 廣一、大谷 幸平、五十嵐昭一、松谷 昊吉、渋谷 正一



出席会員数	会員 71名中 55名
先々週出席率	88.73% (前年同期 88.71%)
今日のお花	ガーベラ、タマシダ、デンハーレ
ヴィジター	三条南より 馬場信彦君、五十嵐 功君 三条北より 佐藤義英君、鈴木英友君、落合益夫君、笹原勝治君
先週のメイクアップ	2/10 吉田へ 加藤紋次郎君、外山一郎君、渡辺喜彦君 2/12 地区諮問委員会へ 藤田説量君 2/13 三条南へ 斎藤弘文君、伊藤廣一君、小林九満太君、近藤雄介君、渡辺喜彦君 2/14 三条北へ 鈴木宗資君、五十嵐 力君、野村竹三郎君、岩井数央君、堀川政雄君、加藤紋次郎君

会長挨拶 杉野会長

御挨拶申し上げます。此の連休で漸く待望の冬景色を見ることが出来ました。
 今年は今の季節にしては川の水は多いそうです。暖冬のために山の雪が早く融けている様です。此の分だと夏場の掲水、雪の降らない分、その反動が大雨となる心配があります。
 又、リクルートシリーズで恐縮ですが、永田町は福岡ショックで大変だと思ひます。—

昨年の春は岩手ショックで売上税が廃案になりました。今回はそれを上回るマグニチュードになりそうです。

福岡は異例の高い投票率だった様です。これまで選挙に投票所に行ったことのない若い人たちが、政治に無関心装ってきたしだけ世代まで足を運んだそうですから。

「井戸堀」という言葉がありますが政治家の清貧と志の高さを示す代名詞だそうですが今日の政界では死語となった様です。

以上で挨拶といたします。

幹事報告 長谷川幹事

例会変更のお知らせ

吉田RC 2月24日(金) 休会(大喪の礼により)

3月11日(土)～12日(日) 旅行例会 於 瀬波温泉 三島屋旅館

草津RC (例会開催曜日変更)

3月2日(木)より 金曜日→木曜日

ガバナー事務所より 大学教員のためのロータリー財団補助金のご案内

開発途上国で教鞭をとる大学教員のためのロータリー補助金、申請書、クラブ受理

最終期日 1989年4月15日

国際ロータリー日本支局財務室より ロータリー適用相場変更のお知らせ

2月1日より 現行1ドル122円→128円

吉野ガバナー・ノミニより

1989～1990年年度地区役員、委員依頼状がとどいております。

※社会奉仕委員長 藤田説量殿

※意義ある業績選考委員 藤田説量殿

※地区拡大カウンセラー 藤田説量殿

※地区諮問委員、地区ガバナー指名委員 藤田説量殿

※地区協議会、グループ別協議会

グループ5リーダー 藤田説量殿

※社会奉仕委員並びに高齢者問題委員 山本福七殿

※地区協議会グループ別協議会

グループサブリーダー 山本福七殿

※研究グループ交換委員 吉井俊介殿

※地区拡大委員 野村竹三郎殿

新入会員紹介

五十嵐寿一会員



白 洋 舎

昭和18年6月16日

家族構成：妻、二男

趣 味：ゴルフ

山谷春夫会員



近畿日本ツーリスト(株)三条支店

昭和24年5月19日

家族構成：妻、一男一女

趣 味：旅行、野球

規定審議会の決定事項について

シンガポールでの規定審議会で決議されたものの中で主なものを申し上げます。

①女性会員の入会について

1989年4月1日より女性の入会が認められます。

②休会が各クラブの認意で年2回認められます。

③メンバーの国外の旅行は2週間を超えても休会としない。

委員会報告 会員増強委員会

予定の増員までもう少しです。各委員会1名の推薦をお願いします。

ニコニコボックス ￥6,000

伊 藤 君 誕生日祝有難うございました。

広 岡 君 昨日の情報委員会勉強会において下さいまして誠に有難うございました。

吉 井 君 昨夜、本年度2回目の情報委員会を開催させていただきました。熱心に勉強されました皆様ご苦労様でした。

藤田(紘)君 久しぶりの出席です。

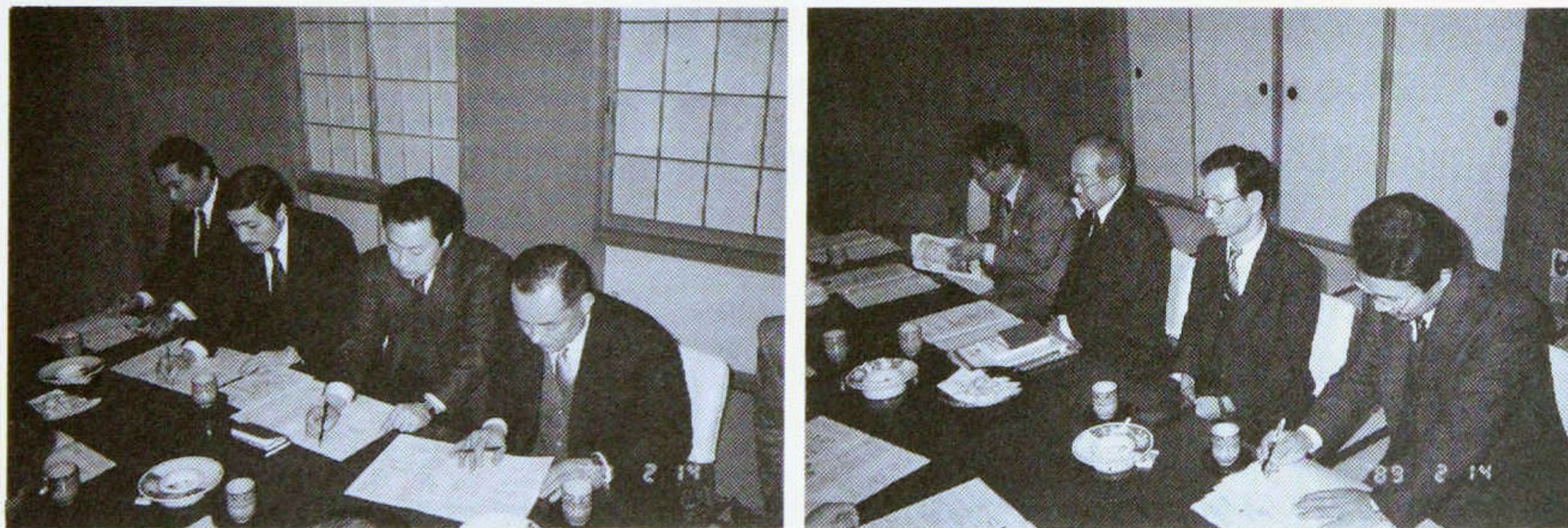
小林(英)君 昨夜の情報委員会、講師の3人の先生方、及び新会員の9名の皆様、ご苦労さまでした。

山 浦 君 昨日の新入会員研修会では大変お世話になりました。

新入会員勉強会(ロータリー情報セミナー)

バレンタインの2月14日、松木屋で新入会員にロータリーについての勉強会を情報委員会で開催されました。

吉井俊介さん、日戸平太さん、熊倉昌平さんの会長経験者による、R I 256 地区の組織表を資料に、わかりやすく手ほどきを受けました。副会長小林英雄さん、幹事長谷川有美さんの出席で新入会員9名は今までにない多人数での勉強会でした。



卓 話

小林正義会員



黙って居る事の競走なら誰にも負けない自信が有りますが、何か話をしなさいと言う事になるとこれ程大変で苦手の事は有りません。

何を話したら良いか考えて居る内に今日迎えてしまいました。それで私の自己紹介を兼ねて今日迄に逢った色々な人との出会いなどをお話し申し上げ度いと思います。

私は今の栄町ですが、旧福島村新堀に生まれ育ち、学校も8年間同じ学舎で勉強して参りました。福島村には5つの学校が有りましてその中の1校です。

私達の1級上までは隣に有る大和小学校の高等へ行きましたし、又、2級下からも大和の高等科へ行きました。なぜか私達と一級下の二組丈が同じ学校で過ごした訳で有ります。今から考えると世間の狭い人間に育ったんだなあーと思考して居ります。

それでも当時は田圃も有りまして今の様な商売をする事など夢にも思って居りませんでしたし、終戦後の食糧増産の国策に添って日夜精励して居りました。又、今の様な娯楽施設も有りませんでしたから、みんなが集って農業問題や色々な事をどぶろくなど汲み交し乍ら夜遅く迄語り合っただけのものですから、結構楽しい青春でした。

日本の経済の成長と共に農村社会にも機械化が進んで参りまして、我々零細農家は農業経営も至難な時代を迎えることになりました。

こんな時代の推移の中で皆様も御存知の通り昭和36年と38年に大水害を受けまして、此の頃から出稼が始まりました。私も36年に或る人に進められて仕事に行った先が今私のやって居る管工の管の仕事にたづさわった最初であります。

その頃は全く農業の合い間を見て都合の出来る日に出て行くと言う形でしたが、その時の親方に「どうせ仕事をするなら1日も早く仕事を覚えて自分のものにしなさい。お前達が身に付けたものは誰も剥ぎ取る事は出来ないんだ」と言って大変しごかれたものでした。今日の私の基礎となって居るのは此の人に出会ったお陰だなあとも今でも心から感謝して居ります。

又、或る会社で少々問題が起きまして、其の時奇しくも期せずして同じ考えで同じ行動を取ったのがうちの会社の常務です。以来20数年来2人3脚で歩いて居ります。

そして、県央振興懇話会で今回小林敬典(株)中央製版社長と出会いまして、本日皆様の前でお話出来る勉強の機会を頂きました事を心から深く感謝して居ります。

人の出会いと言うものは本当に大切にしなければならぬなあと思ひ、又、尊いものだなあとも痛切に感じ、これからは益々出会いを大切にしていきたいと思ひて居ります。

方丈、喫茶去

私の家の菩提寺は、自宅近くにあります。逆に言えば、『菩提寺の近くに自宅がある』が本当になろうかと思えます。同じ塚野目ですが、家より北東へ徒歩で7～8分位の所の清岩寺と云うお寺様ですが、ここは曹洞宗であり同じ禅宗の臨済宗とちがって、平民、諸民の為に、1240年頃道元が坐禅の法を説いて広めたものであり、総本山は福井の永平寺である事は言うまでもないと思う。

当家と菩提寺の付き合いは古いですが、私自身が菩提寺と直接係わりをもつ様になったのは昭和61年9月26日からです。残念ながら親父の亡くなった日からです。

一周忌を済ます迄はしきたりも分からず、言われる通り足を運んでおりました。三年忌を迎えるある日、お寺様を呼ぶ際、本来どんな呼び方をしたら良いのだろうか疑問が湧き失礼とは思いましたが、直接お寺様にどうお呼びしたらいいのか訪ねました。『「和尚さん」「方丈さん」とでも呼んで下さい』と云われました。それまでは清岩寺様、清岩寺様と何んら疑問もなく呼んでおりました。しかし、ここで又、和尚さんか方丈さんかで辞引を引く事になりました。

和尚を引くと①僧の敬称、お坊さん。②住職。と訳してありました。「そんな答だったら俺でも分かるよ」もっと意味があるのかと思っていたものですから。次に方丈を引きました。①一丈四方。②寺院の住職の居間。③住職。と訳してありました。一丈四方、住職の居間の訳に若干興味をだき、早速本屋に行き、禅の本を買いもとめ、方丈の意味を調べたら、「方」とは四角、「丈」とは10尺の意で、つまり「方丈」とは10尺四方と訳され、メートルで言えば3.3メートル×3.3メートル＝10.9平方メートルの広さをもつ部屋になる。

これはインドの維摩居士の部屋が一丈四方だったところからきているらしいですが、維摩居士については質問もあろうかと思えますので後で調べておきます。維摩居士いわゆる老師は一切、この一丈四方の部屋で用務をするのが通例で、寝起きはもとより、書きもの、応接、弟子の参禅入室もこの部屋で行う。要はムダを嫌い、物へのとらわれを自戒する彼等は、又虚飾をも排する、昔の権力者や教祖達はこけおとしの荘厳さで、どれほど人々を威圧又は弾圧してきたことだろう。「禅はこの愚かさとは無縁なり」と訳され、現代でも不必要に立派すぎるものが多い様に思われる事は皆様も同じであろう。

以来、私は清岩寺様と呼ぶのを改め方丈様と呼んでおります。そんな事で時折、仏事とか禅の本をパラパラとめくっては暇をつぶしていました。

先日、日常用語で仏教からきた言葉や言わざが、沢山あるなあーと思いながらめくって

荻根沢隆雄会員



おりましたら、喫茶去と言う字が目に入り、確か菓子屋さんでそんな名前のお菓子があったなあーと思い読みましたら以上の事が書いてありました。

唐の時代（西暦600年～900年）趙州從諗じょうしゅうじゅうんという禅師がいた。その趙州の語録の中に、「師、二人の新到に問う『上座、曾なって此間に到るや』。曰く『曾なって到らず』。師曰く『喫茶去』。又、那の一人に問う『曾なって此間に到るや』曰く『曾なって到る』。師曰く『喫茶去』。院主問う『和尚、曾なって到らざるに、伊かれをして喫茶去せしむるは、即ち且く置く。曾なって到るに、何としてか伊かれをして喫茶去せしむる』。師曰く『院主』。院主応諾す。師曰く『喫茶去』』となるやりとりがあった。

次に現代訳があり「趙州が二人の修行僧に、『あなたはかつて、ここに来た事があるか』と尋ねた。一人が『いいえ』と答えると師はお茶を飲めと言った。今一人に同じ事を尋ねたら『はい』と答えた。やはり師はお茶を飲めと言ったのである。そこで寺の事務長は不思議に思い『和尚、来た事のない者にお茶を飲ませたのは、まあいいとしましょう。しかし来た事のある者にも同じ様にお茶を飲ませたのはなぜですか』と質問した。すると師は「事務長さん」と呼んだのである。事務長が「はい」と答えると、『まあ、お茶でも飲みなさい』と言った。要は『つべこべ言うな』『あれこれ考えるな』と言うことを喫茶去で表現しているのである。角栄流で言えばおーいメシ食ったかなのでしょうか。無心になって行動が出来るものすなわち自分自身に対して目的も観念もなしに行動がとれるものならば本物と言えよう。私はこれが奉仕の原点であり、徳とも思えてなりません、皆様はどうでしょうか。あー難しい、難しい。

要するに私利、私欲なく行動そのものになりきれもの。即ち、学芸会等で立木の役をやらせられたとする、その立木になりきることが非常に芸がいののではと簡単に自分なりに思っております。

キーワード 保険料の払い込み、コンビニ店でOKノ

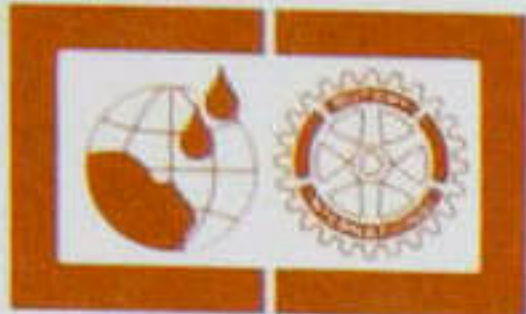
第一生命保険では2月1日より東京、神奈川の「セブンイレブン」各店舗で、生命保険料の払い込みを受け付ける。

金融機関の週休2日制や単身者、共働き世帯の増加に対応するため、日曜日や夜も店が開いているコンビニエンス・ストアを支払窓口を利用するもの。

セブンイレブンを使いそうだとみているのは現在、銀行、郵便局など金融機関の窓口に出向いて保険料払い込みを6千～7千件と見込んでいます。

セブンイレブンではすでに東京電力、東京ガスの料金収納業務を代行しており、取扱件数は約19万件にのぼります。

物品販売以外のコンビニ店利用はますます多様化とともに地方に広がる様子です。



次週例会 2月22日 卓話 鈴木宗資会員

次々週例会 3月1日 卓話 佐藤信次郎会員、山浦日出夫会員
